

令和5年8月台風第6号による 医療機関被害状況調査結果



常任理事 稲田 隆司

台風第6号は8月1日と2日の2日間、沖縄県全域を暴風域（那覇市で最大瞬間風速52.5m/sを観測）に巻き込みました。その後、沖縄本島を通過すると、多良間島の北の海上でほとんど停滞し、その後、もと来た進路を引き返すかのようにUターンし、4日から6日頃にかけて再度沖縄本島を暴風域に巻き込みました。さらに6日には本島北部地域において線状降水帯が発生する等、記録的な豪雨にも見舞われました。今回の台風は速度が遅く、暴風や大雨による影響により県内各地では停電や断水などの被害も発生しました。

医療機関の被害状況については、5日の時点で10数件程度の病院が停電により自家発電を活用し、診療を行ったとの情報が寄せられていました。また那覇市内の透析クリニックの1件が停電により診療を停止、その他、中部地域の産婦人科病院が断水による水不足のため、圏域をこえて、那覇市の給水車が支援したとの新聞報道もありました。

医療機関の被害状況は地区医師会等から一部報告を受けておりましたが、詳細な状況は把握しておりませんでしたので、台風明けの8月7日（月）全県的な医療機関の被害状況を把握することに致しました。この度、調査結果をまとめましたので報告致します。

調査概要

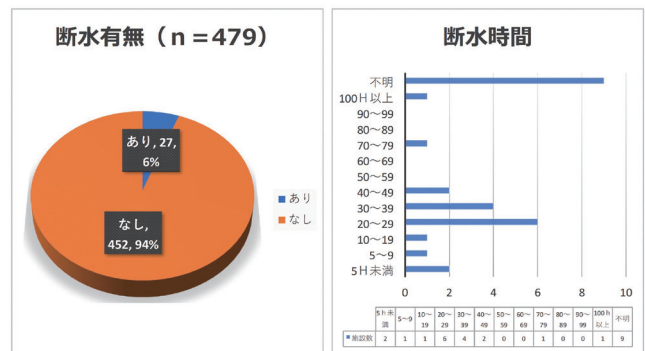
- 実施期間 令和5年8月7日～8月10日
- 調査対象 789の会員施設
- 実施方法 各地区医師会を通じて管下医療機関へ調査票をFAXし回収

- 回答施設 479施設（回収率60.7%）
内訳：病院65施設 / 有床診療所30施設 / 無床診療所371施設 / 老健施設13施設
- 調査項目 以下11項目

- ①断水 有無（最長断水時間）
- ②停電 有無（最長停電時間）
- ③建物の被害 有無
- ④設備等被害 有無
- ⑤がけ崩れ、土砂災害 有無
- ⑥床上浸水 有無
- ⑦床下浸水 有無
- ⑧雨漏り 有無
- ⑨その他被害状況
- ⑩暴風圏内での休診以外に、診療に影響がでた事象
- ⑪ご意見ご要望について

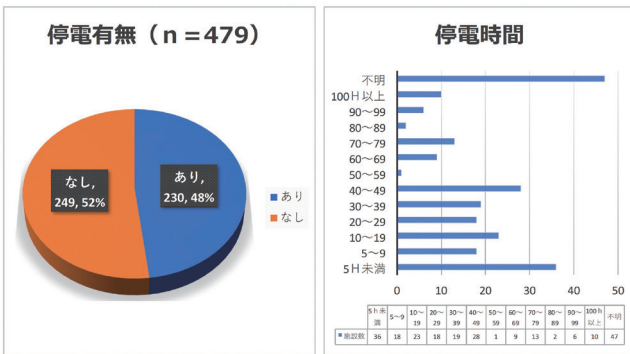
■設問1、断水の状況です。

- ・断水は479施設中27施設（6%）で発生し、全施設における平均断水時間は32.7時間でした。
- ・施設別の平均断水時間は、病院は5時間、有床診療所は「記載なし」のため不明、無床診療所は36.2時間、老健施設は4時間でした。



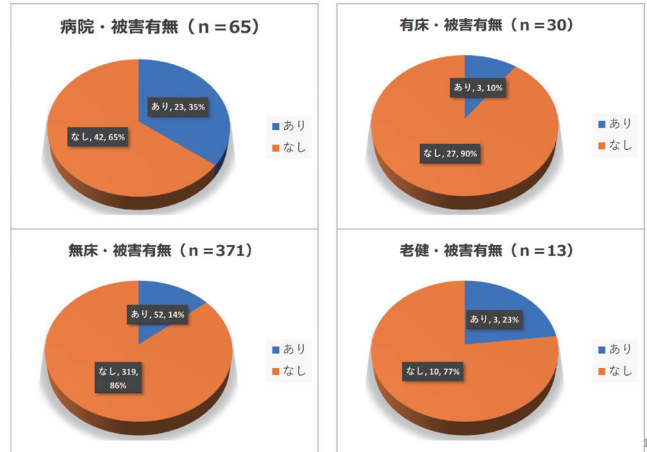
■設問 2、停電の状況です。

- ・ 停電は 479 施設中 230 施設 (48%) で発生し、全施設における平均停電時間は 37 時間でした。
- ・ 施設別にみると、病院は 32.8 時間、有床診療所は 20.8 時間、無床診療所は 38.5 時間、老健施設は 38.2 時間でした。
- ・ 100 時間以上停電した施設が 10 施設、その内訳は病院 1 施設、無床診療所 8 施設、老健施設 1 施設あることが分かりました。



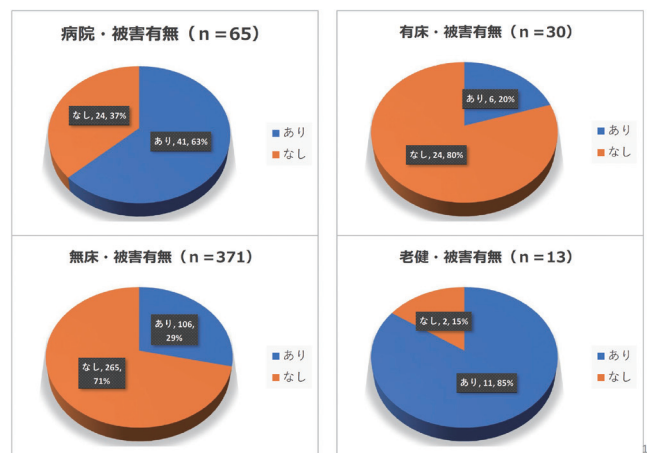
■設問 3、建物の被害状況です。

- ・ 建物の被害は 479 施設中 81 施設 (17%) で発生。主な被害場所は、①屋根・天井関連 (玄関スロープの屋根、貯水タンクの屋根、天井の亀裂、天井の水漏れ、天井パネル落下)、②窓ガラス関連 (通用口ドアガラス破損、窓枠損傷)、③建物外部・エントランス関連 (1F 出入口強風で故障、玄関看板、自動ドア、TV アンテナ破損、外灯破損、屋上レンガの剥離)、④建物内部関連 (踊場の壁面ひび割れ、待合室、処置室、検査室、排気ダクト) 等でした。
- ・ 施設別にみると、病院は 23 施設 (35%)、有床診療所は 3 施設 (10%)、無床診療所は 52 施設 (14%)、老健施設は 3 施設 (23%) でした。



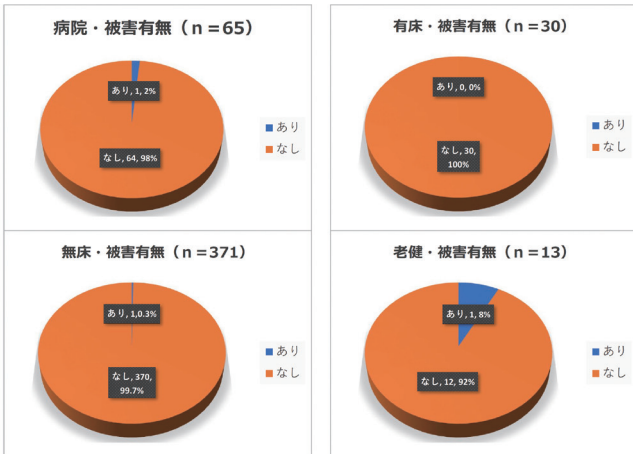
■設問 4、設備等被害の状況です。

- ・ 設備等被害は 479 施設中 164 施設 (34%) で発生。主な被害場所は、①冷房関連 (管理等中央冷房の冷却機破損、MRI 冷却装置、無停電電源装置、空調室外機)、②通信関連 (電話回線、電子カルテ等通信機器、インターホンの故障、パソコン、サーバー)、③水道関連 (給水ポンプ 1 基の故障、水道漏れ)、④電源その他設備関連 (中央棟発電機不具合 (取替)、インターホン故障、煙感知器 (雨漏入水)、レントゲン、エアコンが通電していない) 等でした。
- ・ 施設別にみると、病院は 41 施設 (63%)、有床診療所は 6 施設 (20%)、無床診療所は 106 施設 (29%)、老健施設は 11 施設 (85%) でした。



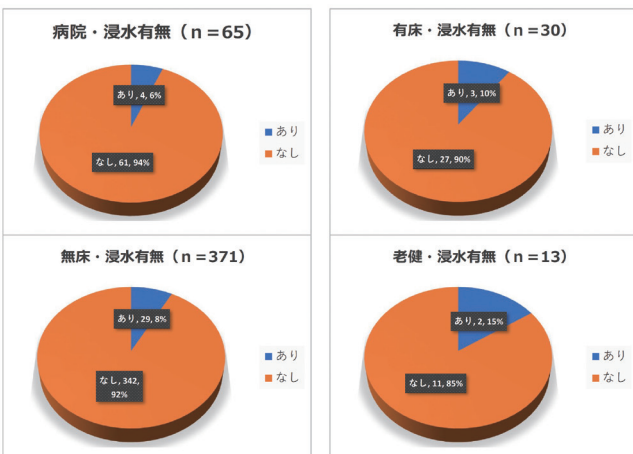
■設問 5、崖崩れ・土砂災害の状況です。

- ・崖崩れ・土砂災害は 479 施設中 3 施設 (1%) で発生。主な被害場所は、施設前の市道や市道の一部で通行不可、また敷地周辺にて一部発生等でした。
- ・施設別にみると、病院は 1 施設 (2%)、有床診療所は無し、無床診療所は 1 施設 (0.3%)、老健施設は 1 施設 (8%) でした。



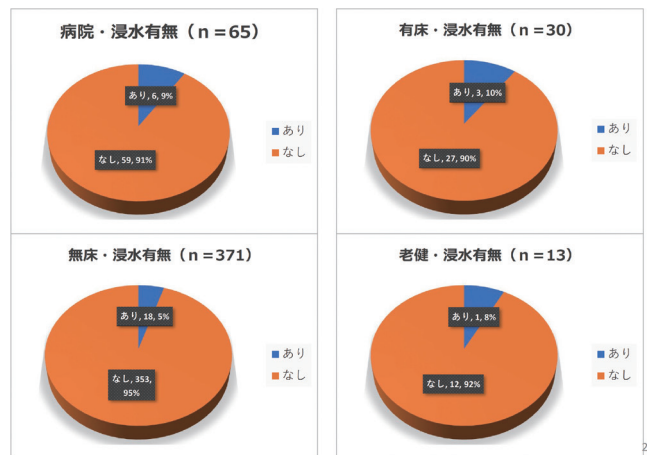
■設問 6、床上浸水の状況です。

- ・床上浸水は 479 施設中 38 施設 (8%) で発生。主な床上浸水箇所は、玄関、風除室、待合室、処置室、検査室、オペ室、病棟、多目的ホール、廊下、受付、更衣室、2F ベランダ、4F エレベーター管理室、5F 電気室、事務所等、至る所に影響を与えました。
- ・施設別にみると、病院は 4 施設 (6%)、有床診療所は 3 施設 (10%)、無床診療所は 29 施設 (8%)、老健施設は 2 施設 (15%) でした。



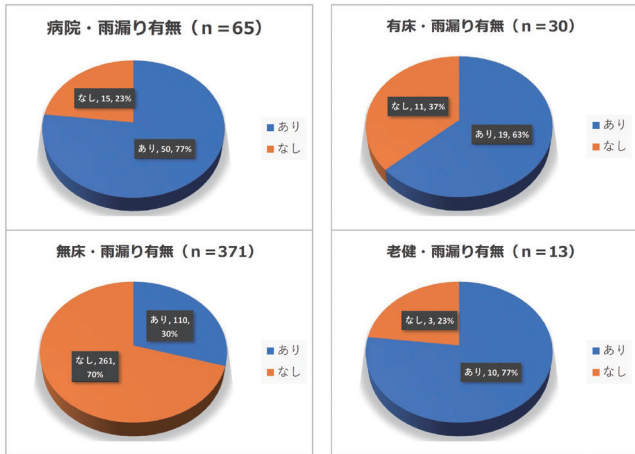
■設問 7、床下浸水の状況です。

- ・床下浸水は 479 施設中 28 施設 (6%) で発生。主な床下浸水箇所は、受付、病棟、レントゲン室、エレベーターホール、廊下、診察室、休憩室、リハビリ室、更衣室、窓側に近い場所数か所、面談室、事務所等、至る所に影響を与えました。
- ・施設別にみると、病院は 6 施設 (9%)、有床診療所は 3 施設 (10%)、無床診療所は 18 施設 (5%)、老健施設は 1 施設 (8%) でした。



■設問 8、雨漏りの状況です。

- 雨漏りは 479 施設中 189 施設 (39%) で発生。主な雨漏り場所は、①院内各所 (病棟、外来、薬剤部、放射線科、リハビリ室、栄養管理室、中央監視室、検査室、透析室、産婦人科外来、カルテ室、廊下、階段、複数の建物で発生、レントゲン撮影操作室、生理検査室)、②フロアやエリア関連 (院長室、更衣室、事務長室、食堂、厨房、売店、窓、トイレ、柱、軒先、ロビー、会議室、医局、図書館、研修室、機械室、リネン庫、管理棟、サーバー室、ナースステーション、全フロア、バックヤード、天井の換気口、各種通路) 等でした。
- ・施設別にみると、病院は 50 施設 (77%)、有床診療所は 19 施設 (63%)、無床診療所は 110 施設 (30%)、老健施設は 10 施設 (77%) でした。



設問 9 から設問 11 は各施設における被害の状況や診療への影響、台風時の対策についての要望・意見等を纏めました。記述式の回答のため、内容は地区医師会毎に列挙しました。各医療現場では様々な被害等が発生しています。

自然災害等で発生する様々な事象を把握する機会になることと、また平時からの防災・減災対策を考える基礎に繋がると考えていますので、ご確認頂けたらと思います。(※各施設で類似の内容は紙面の都合上、割愛してありますのでご了承下さい。)

■設問 9 その他、被害状況について

○北部地区医師会

- ・入院や専門科の治療が必要な患者さんが、搬送手段がない為に自宅での看取りや診療所での宿泊となった事例が 4 件あった。
- ・電話不通 72 時間。
- ・停電により予防接種ワクチンの保存について(蓄電あるもギリギリであった)。
- ・停電の為、外来の休診が継続した事で地域住民に迷惑をかけた。
- ・漏電疑いにてブレーカーが 10 回以上落ちたのでクーラー、機械等使用不可。
- ・(警報発令したら) 自家発電がないため冷蔵保存の薬剤(主にワクチン等)の保管が困る(毎回、都度、法人の薬局へ移動保管している)。
- ・ピロティ天井の一部損壊。ひさし部分の一部損壊。

- ・コロナワクチン 12 本廃棄。
- ・外の看板が変形。
- ・漏電(ブレーカー作動)あり、一部電気使用不可。
- ・正面ドアの下から浸水しフロアの半分。
- ・出勤途中の道路が決壊している。
- ・植栽の倒木、塩害、水枯れ。
- ・電話線が切れている。8/2～現在に至る。
- ・院内の火災通報装置の誤作動。
- ・プレハブ棟壁一部破損。
- ・強風雨のため、換気口やドアより多量の雨が侵入し院内が浸水。
- ・雨漏りに起因した天井の剥がれあり(内視鏡センター・1F 廊下・2F 検査室・2F 廊下・7F 機材庫。)

○中部地区医師会

- ・貯水タンクの配管破損。
- ・エレベーター管理・機械室が、吹込み・水漏れによる床上浸水がおき、エレベーター自体に雨水が流れ込みました。エレベーターピット最下層の床面に雨水がたまり込みました。
- ・4 階ベランダ手摺破損、CT 用 LAN ハブのショート。
- ・8/1(火) 20 時頃から 8/6(日) 17 時 30 分まで停電。自家発電機にて対応したが、8/5(土) 17 時頃に自家発電機がオーバーヒートして停止。電力が全くない状況となった(翌朝 8 時頃に業者対応により、自家発電機は復旧)。暑さ対策も執っていたが、停電のためエアコンが使えず、体調を崩す入所者が数名いた。
- ・ネットと電話回線の不具合。
- ・看板が倒壊し、送迎車輛に落下。車の傷、フロントガラスの破損。電話線が切れ、電話・インターネットが使用不能。
- ・寝具、ユニフォームの洗濯(工場停止による未納品及び遅延)。
- ・テレビのケーブルの切断で 8/8 時点で直っていません。
- ・医療機器(心電図モニター)、検査機器の故障。
- ・職員駐車場、門扉破損。

- ・① 8/2 (水) AM3 時頃、瞬停 (6 ~ 7 回)、
- ② 電話通信障害 (内線・外線: 8/3 ~ 8/4)。
- ・更衣室等の畳類が浸水、保管書類が浸水。
- ・倒木。
- ・グルガゴン、肺炎球菌ワクチン、停電のため使用できず。
- ・16 時間停電したが、自家発電で病棟の診療ができる最低限の電源を確保した (自家発電は 3 日と半日稼働可)。
- ・8/1、8/2、8/5、1 日休診のため、収益面の被害。
- ・院内各所、アルミサッシや扉より雨水侵入。
- ・停電のため 2 日 ~ 5 日まで休診した。暴風のため 1 日は休診した。
- ・停電で冷蔵庫の氷が溶けて床が水浸しになった。
- ・インターネット不良。
- ・漏電により、屋上の加圧ポンプが働かず、水圧が低下した。
- ・長期停電のため冷蔵庫で保管していた薬剤がすべて使用出来なくなった。

○浦添市医師会

- ・電話線が切れて、電話、FAX が使えない。
- ・隣地からのゴミ散乱。
- ・正面玄関ドア故障 (外れた)、医療物資供給遅延、綿久からのリネン供給停止。

○那覇市医師会

- ・窓枠部分からの雨の吹込み (4 ~ 6 ヶ所)
- ・入口の自動ドアが作動しなくなった。
- ・アリの多数発生。
- ・駐車場のネットフェンスに取り付けていた案内パネル 1 枚、コーン 1 個が強風で飛ばされていた。コーンは行方不明。
- ・パーキングのポールがなくなった。パーキングの掲示物が飛ばされてなくなった。
- ・雨水が吹き込んで水浸しになった
- ・タイマー (看板他) の誤作動 → 電気保安協会により改善。
- ・閉院時間内 (台風で休診) に停電があったようで冷蔵庫内の温度低下が考えられコロナワクチン 2 本破棄となる。

- ・他テナント共用部分のドア破損、設備被害はありました。
- ・クリニック前の市道が冠水し片側通行となった (原因は側溝へ木の枝や葉、ゴミが塞いでいたため)。
- ・地下駐車場の水はけが悪く、歩くのが大変であった。
- ・窓ガラス割れ、A 棟避雷針折れ。
- ・屋上洪水 → 天井洪水 → 天井雨漏り。

○南部地区医師会

- ・2F の排水溝がつまり、水が 1F に浸水。
- ・植木鉢、プランターが強風により被害。
- ・隣接する排水溝のつまり。
- ・外灯 10 台破損。
- ・4 日間停電のため休診、手術時使用の薬剤、冷所保存のため破棄 (20 万円程)。
- ・電子カルテサーバーの故障。
- ・駐車場一部、案内看板破損。
- ・停電により冷蔵庫のワクチンが使用不可。
- ・非常電源が稼働したが、燃料切れで約 3 時間停電。
- ・停電が長時間になり、非常用発電機が連続運転となり、オーバーヒートによる停止が繰り返された。
- ・プレハブの屋根の軒が破損、屋外道路のカーブミラー支柱が折れた。
- ・職員軽自動車 3 台横転。
- ・検査機器の不具合数件。
- ・ハトよけネット破損、駐車場フェンス倒壊。

○宮古地区医師会

- ・患者様用トイレ、階段が水浸しになっていた。

○八重山地区医師会

- ・何か所か窓サッシより水漏れあり。

○国療沖繩公務員医師会

- ・病院への電力の引き込み口で問題が生じ、頻回に停電が発生した。
- ・フェンスの倒壊 3 箇所。

○沖縄県公務員医師会

- ・津堅診療所は8/1～8/3にかけて停電した。自家発電機で対応しました。
- ・一時、代表電話番号及びインターネット回線不通となった。(KDDI等通信会社の原因と思われる。)

■設問 10 暴風圏内での休診以外に、診療に影響がでた事象がありましたら教えてください。
(例：透析を開始したが、直ぐに停電して中断した。)

○北部地区医師会

- ・停電時間が続いた為、小型の発電機で電子カルテを動作し、処方のみに対応を行った。その他の検査はすべて中止。
- ・停電でレセコンが使えない為、薬の処方 handwritten で行った (1日半)。
- ・電話・電子カルテが不能にてクリニック、薬局 (隣接) が診療できなかった。
- ・台風が過ぎた8/7、8/8も診療時間内に何度か停電し、パソコンやクーラーを立ち上げ直すことがあった。
- ・停電中の診察で検査はほぼできなかった (採血、心電図、心エコー、レントゲン)。電子カルテをはじめ処方箋の作業等、電子機器類がすべて使用できなかったため診療にならなかった。
- ・透析は都度、日曜日に移動して行った。
- ・受付、検査 (X-P、エコー) 会計できず紙カルテ使用、紹介状等 handwritten で対応した。
- ・停電にてワクチンや冷所保存薬品を非常電源を使用可能な保管場所 (冷蔵庫) へ移動した。
- ・床上浸水があり1日休診を要した。スタッフの子が保育園に預けられず休診にしないといけない。

○中部地区医師会

- ・エレベーターの点検・管理のため、8/7午前中の診療の際、エレベーターを休止せざるを得ませんでした (車椅子を用いた患者の移動ができなかった)。
- ・暴風域を外れたので診療を開始したかったが、停電が長引いた為、診療できなかった。

- ・吸引処置が必要なショートステイ利用者がいたが、停電のため吸引器が使用できず、ご自宅が電気復旧したこともあり、ご自宅に避難・退所いただいた。
- ・暴風警報が解除された後も、停電が長引き診療ができなかった。
- ・パソコンの不調で電子カルテが見えないことがあった。
- ・保管していたワクチンが停電によって使えなくなった。雨の吹込みにより院内の半分、水浸しになった。
- ・検体回収業者 (検査業者) が停電のため血液検査が出来なかった。
- ・8/2～3透析が2日間できず他院へ案内した。8/4には復旧し、無事当院にて施行した。
- ・断水で貯水タンクが渇水したため、市より5トン給水を依頼した。
- ・門前薬局が停電し電子カルテ (薬局内) が停止し、別の薬局へ連絡しつつ対応してもらったが、処方薬の一部が処方できずに処理された。
- ・断水が原因でトイレが使用できず、患者よりクレームが発生した。
- ・診療開始直後に停電したため休診。
- ・透析日の変更、透析時間の短縮。
- ・送迎対応 (暴風や倒木による交通渋滞にて通院患者に影響)、患者、職員の自宅の数日間停電。
- ・レスパイトの受入れ、近隣医療機関や薬局の停電に伴い、患者数増、リネンの不足 (台風時の工場停止に伴う)。
- ・断水時、タンクの備蓄および市からの給水もあり、透析を中止せずに実施できましたが、復旧まで、給水タンクを注視しながらの実施でした。最接近の8/2は停電しましたが、透析を休診していたため、影響は免れました。
- ・停電により分娩監視装置が一時停止。非常用電源に繋ぎなおして使用できた。
- ・8/3に1日断水。定期薬処方などは診療できましたが、発熱患者さんの対応が何名かできなかったことがありました。あとは、トイレをお貸しできませんでした。

- ・診察室1部屋が雨漏りのため使用できず、内視鏡、レントゲン、エコー等の検査ができない。
- ・交通障害によるスタッフの通勤困難。長時間の停電により、診療が行えなかった。
- ・停電でハートモニターがエラーになり、一時的に表示されなくなった。自家発電機の容量の問題で、発電機からエアコンに電力供給が出来ないことから、エアコンが長時間使用できずに寝たきり患者さんの発熱や発汗が多くなった。容態急変の患者さん（元々 DNR）を、家族の急な要望で搬送してほしいとなったが、受入れ先が見つからず（医師より3件確認したがNG）、そのまま看取りとなった。
- ・呼吸器症状のある方のレントゲン撮影ができず、他院へ紹介。

○浦添市医師会

- ・休診した、ネットの不具合。

○那覇市医師会

- ・予約変更など、問合せが急増。対応件数 130～150 件 / 日（8/3～8/4）。
- ・停電による影響で自宅で酸素装置を使用している患者様の救急搬送3件、停電復旧により救急搬送を回避した1件。
- ・開院時間内に断水あり、業者に調査してもらったところ水タンクパイプの暴風による破損、劣化があり、供給されてないことがわかり、修理依頼を行った。
- ・2日間透析が不可能で、一時全員の他施設への搬送も検討した。
- ・停電したため外来診療できず患者さんに帰って頂いた。
- ・透析スケジュール（曜日・来院時間・透析時間等）。
- ・停電のため透析中止、翌日へ変更。
- ・停電のためXP、CT撮影できず。
- ・停電が復旧せず、発電機を使用して診療した。

○南部地区医師会

- ・停電のため1日休診（8月3日）。

- ・クーラー故障により、迅速検査機がエラーで使用不可。高速道路の通行止め、倒木、信号停電の交通渋滞で医師の到着が遅れ、患者の待ち時間増加。保育園の開園が遅れ事務職員の遅刻が多く、受付患者待ち時間増加。
- ・停電のため休診（8/3終日、8/4午前中）。
- ・電話回線等が復旧していない為、発熱外来等の電話対応が行うことができない。
- ・停電のため、レントゲン等が取れずやむをえず休診。
- ・老健への新規調整の遅れ。
- ・透析日変更に伴い、日曜出勤が生じた。
- ・休みの問い合わせも多く通常の業務への差支えが生じた。
- ・透析を日曜日へ変更して施行した。2週連続停電によるパソコンシステムの使用不可、厨房の調理機器が使用不可。エアコン使用不可になったため、熱中症の危険があった。一部エレベータ利用制限。断線によりFAX、インターネットが使用不可。院外処方箋をFAXできず、直接院外薬局へ届けた。
- ・8/1午前中から休診、休診の案内を出したが処方希望で来院した患者さんの対応に苦慮した。
- ・物品が届かず診療に影響があり、冷蔵薬品の破損あり。8/1午後休診、8/2、8/3、8/5午前休診。
- ・院内キャッシュレスシステムが停電により停止し、一時的に公衆電話と自動販売機が利用できなくなった。

○宮古地区医師会

- ・MRIの復旧に時間を要した。
- ・大神島へのフェリーが止まって訪問診療できなかった。
- ・暴風圏内中に2病棟にわたりコロナクラスターが発生。ガウンの消費量が多くなり在庫が心もとない状況となるも、台風の影響で納品が未定となっていた。
- ・高圧電信柱の異常により連動で自家発電も故障したため、施設全体の電気が絶たれ対応に追われた。

○国療沖繩公務員医師会

- ・ 医師（那覇近郊在住）を含む医療職員の出勤困難（高速道路、ワルミ大橋の通行止め、真喜屋交差点付近の冠水通行止め）・給食材料の確保困難。

○琉球大学医師会

- ・ 暴風圏内での休診以外に、本院の診療に影響は無かったが、近隣の調剤薬局の停電が続いたため、医薬連携に支障が生じた。

○沖縄県公務員医師会

- ・ 近隣の医療機関にて、台風による停電が発生したため、急遽、停電発生医療機関の人工透析患者を受け入れて対応した。

設問 11 台風時の対策について、要望等ご意見をお願い致します。

○北部地区医師会

- ・ 現在、大宜味村役場より大きめの発電機を設置してもらって最中で工事を進めています、すべての電気をまかなう事ができない為、停電時の対応を考えないといけません。
- ・ 電力会社へ停電の復旧を病院等を優先にする様、要望したい（非常電源では限りがある）。
- ・ 発電機や PHEV 車などの災害対策（BCP）の勉強会や展示会があってもいいかもしれません。
- ・ 今回蓄電池を急ぎで購入したのですが、あと数台あると最低限の診療が可能であるし、災害時を想定して保管しておくことも有りだと感じた。
- ・ 観光客対策（インスリンなどの薬処方等）。

○中部地区医師会

- ・ 停電が長時間におよび、発電機の燃料（A 重油）を消費した時、優先的に燃料を受領できるように取り計らっていただきたい。そうすることにより、停電で治療できない他施設の透析患者様を受け入れられる可能性もでてくる。

- ・ バッテリーを無償貸し出ししてもらいたい。
- ・ 在宅 or 療法中の患者（2 名）が入所（老人ホーム）していたが、幸い停電はなかった。（酸素、ガスボンベを多く購入した）
- ・ ①中部地区にも、停電時に吸引・在宅酸素を必要とする方の受入れ施設を設置してほしい（今回那覇に設置されたが、台風時には遠くて移動が困難）。②うるま市は他市町村に比べ、停電戸数が多く、しかも長引いていた。当施設の立地する地域も対応が遅かった（当施設近隣には、高齢者施設、障害者入所施設が数箇所ある）。うるま市は救急医療機関もあり、長時間の停電は医療の提供、即ち地域住民の生命に関わる。地域的にもっと電力復旧が早くできるよう沖縄電力や県災害対策当局に地区医師会・県医師会から要請してほしい。③当施設も自家発電機を設置しているが、増強の必要性を感じている。自家発電機の設置・増強に関する補助金制度を沖縄県に要請してほしい。
- ・ ハイブリッド車からの外部電源システムの案内・サポートを沖医商事等で行ってほしい。
- ・ 「ワクチン（冷所用）を守るため」蓄電池を備えていますが、2～3日が限界です。災害時など、停電対応保管庫（冷凍用）利用できるシステムがあれば。オープンしている医療情報もあれば助かります。
- ・ 地域の薬局同士の連携ができないか。薬卸し等での対応等、バックアップの連携があればと思った。当院スタッフ全員へ薬局へ TEL 対応し、患者も長時間待つ状況であった。
- ・ レスパイト入院への対応（在宅医療へのカバー体制）、災害対策における通信障害の対応。
- ・ 電話が使えないため、救急車への TEL ができないと想定しております。その際の対応などが不安要素です。
- ・ レスパイトの受入れは、各市町村で対応頂きたい、近隣の医療機関の停電対応を検討頂きたい。
- ・ スーパーが暴風警報が発令されても営業しているせいなのか、クリニックも暴風警報関係

なく患者の要望に合わせて診療してほしいという要望があり困った。台風時は、クリニックは休診になるという情報を広く発信してほしい。

- ・非常用の発電、水の確保について見直しが必要かご教授いただけると幸いです。(3日以上必要か?) ⇒ 実際、当院は5日間非常発電使用。
- ・台風時出勤する職員の食糧が懸念された。非常食配給の支援等があれば有難いです。
- ・以前、自家発電機を準備していたが、故障が多く、その為今回準備が出来なかった。借入れが可能な体制を。
- ・緊急時の連絡を一括に把握してもらって発信してもらおうなど。各クリニックの被害状況を報告できるシステムをつくり、FAX・TEL連絡困難など一括で情報収集できる何かアプリなどあれば有難い。Wi-fi も。
- ・停電時パソコン使用不可のため、アナログ対応できるように紙カルテ使用を国に要望・請求してほしい。マイナンバーでは医療全滅です。
- ・診療所は大丈夫でしたが、自宅の固定電話の回線が停電後の故障のため通じなくなり、インターネットも使えない状態です。NTTに問い合わせると県内で何千件単位で起きていて、医療機関等から優先的に復旧工事をしているところだが、個人住宅は2～3週間かかると言われました。関係あるか不明ですが、貴会のFAX送信も昨日は話し中で何回送っても送信できませんでした。電話回線が遮断した場合の医師会との連絡方法は検討されておりますでしょうか。
- ・停電後、早期復旧できる配電網を沖縄電力に依頼してほしい(今回の台風で4日間停電のため休診)

○浦添市医師会

- ・透析医療機関の被災状況を当事者同士のネットワークで情報収集と報告を行っているので、県など総括して情報収集し拡散していただけるシステムを構築してほしいと思います。

- ・当院はモノレールの運行を目安に診療所の休診を決めているが、バスの運行を目安にしている所では、8/1(火)午前、天候がそれほど悪くない中、休診したところが多い。社会への影響が大きいバスの運行停止の基準の透明性、信頼性を高める必要がある。

○那覇市医師会

- ・緊急時の患者様への通知をLINEで行っていますが、登録者数を増やす取組を開始。
- ・日常において修繕し続けている。防水、電気、ビルメンテ等。保守の職員を置いて職人さんのネットワーク構築。
- ・発電機のレンタルがスムーズに行えると助かります。
- ・今回は大丈夫でしたが、毎回ワクチンが停電になると心配です。メーカーに預けて対策しています。
- ・恒久的な対策として、「電線類地中下」を医師会として行政に提言してほしいです。
- ・県医師会から沖電に透析施設の停電時の復旧対策をお願いしている。
- ・被害とは直接関係ないですが、台風時に開いている薬局の情報は薬剤師会のホームページに載っているのでしょうか。
- ・タクシーの確保に難渋しています。
- ・長期の停電だと冷蔵庫の中身(薬品類)の品質が心配になる。自家発電機が必要かもと考えていました。
- ・8/3、8/4停電中のなか診療を行った。台風時や緊急時にもう少し懐中電灯やランタンがあれば助かります。
- ・透析クリニック等へ停電回復等の優先を依頼したい。

○南部地区医師会

- ・糸満市は停電が多い。停電対策をコロナワクチンの在庫を保健センター等で預かってほしい。
- ・蓄電池の貸し出しを希望
- ・停電の復旧作業は病院、高齢者施設を優先的に行う様要望する。

- ・電源車によりどの程度電力が賄えるのか、仕様等情報が欲しい。
- ・長期停電時に備えて、自家発電機の準備が必要と感じた。
- ・沖縄電力への相談は音声ガイダンスとなり相談できなかつたため、電力会社と病院との間で円滑に連絡できるようにしてほしい。
- ・入院患者を受け入れている病院は電気、インターネット等ライフライン復旧を優先してもらいたい。
- ・人工呼吸器バッテリーは7時間しか持たない為、長引く場合の対応について医師会においても検討して頂きたい。
- ・県立病院（公立系）はテレビのテロップに休診案内がされているが、当院でもそういった方法で周知が図れないか確認することは可能か。
- ・停電施設へライフライン分の発電機レンタル等の支援があれば助かります。

○宮古地区医師会

- ・送電線の地中化推進。
- ・暴風に伴う運送停止による薬剤不足解消。

○八重山地区医師会

- ・建物の被害は無かったが、医療ガスの酸素の補充がきびしい。今後としては備蓄倉庫の拡大等を検討したい。

○国療沖縄公務員医師会

- ・停電時バックアップとして発電機貸し出しが可能だと心強い。
- ・自家発電機用燃料（重油）の優先先配給（屋我地地区は平時でも停電発生が多く、県北であるためか復旧作業も遅い状況。今回は8/1夕方に停電後、8/4 AMに燃料補給できた状況）。飲料水/入所者食糧の優先的供給（備蓄日数：7日を超えた場合）。

以上のように、今回の台風による被害状況は、県全域にわたって分布しました。

特に停電による空調設備の故障や通信障害、暴風雨による雨漏りや建物内外部の損壊等が多数報告されました。会員の先生方におかれましては、今回の台風で得られた教訓を元に、自然災害等で発生する様々な事象への対応について平時からの備えを考える機会になったのではないのでしょうか。本会と致しましても寄せられて内容を参考に、今後も各地区医師会と連携を図りながら様々な対策を考えて参りと思っておりますので、引き続き、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。

暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受付 月曜日～金曜日（ただし、祝祭日は除きます） 午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868-0893 なくそうヤクザ 862-0007 スリーオーセブン FAX (098) 869-8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は……悩まずに今すぐご相談を（相談無料・秘密厳守!）」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議